

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	児童発達支援センター明石市立あおぞら園 保育所等訪問支援事業		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 10日		～ 2026年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	(回答者数)	6
○従業者評価実施期間	2026年 1月 10日		～ 2026年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	(回答者数)	2
○訪問先施設評価実施期間	2026年 1月 10日		～ 2026年 1月 30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 4日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・母体の児童発達支援センターでの各種の療法や訓練、日々の発達支援における取り組みや、これまでの多くの実践が生かされ、訪問支援員の支援に役立っている	・訪問支援員もセンターの利用児への療育支援に関わったり、話し合いに参加するなどして、実践の感覚を養っている	・ケース会議などを通して訪問先での支援を療育の現場に伝えることで、児童発達支援の移行先である園や学校での生活をみすえた支援の充実を図りたい
2	・市内では早い時期から行ってきて、手続きや方法についてもこれまでに市と検討してきた経緯があり、改良されている	・対象児に対する訪問先の指導や支援を尊重し、また訪問する機関の文化や理念などを踏まえ、支援されている方たちの負担にならないように考えて訪問させていただいている。	・今までは多くの件数を扱うことが難しかったので、ニーズに応えられるように効率化を検討していく必要がある。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・訪問時の支援会議に関して、訪問先が負担に感じられる状況がみうけられる	・訪問先の負担感を避けるために場合によって簡便に行ったり、頻度を減らすなど柔軟な姿勢を示す必要があると思われる	・契約の際、訪問時の支援会議の持ち方については、場合によって柔軟に対応する可能性があることを訪問先や利用保護者に伝えておく
2			
3			